

令和元年6月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(6月19日、20日 2日間)

○6月19日(水)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
日本共産党議員団 田端 文明	1 学校給食の無償化について	段階的な無償化について	学校教育課	1
公明党 高橋 正人	3 通学路の安全対策強化について	(1) 通学路点検における危険箇所の把握について	教育指導課	2
	4 防災・減災対策について	学校施設の非構造部材の耐震対策について		
		ア これまでの取り組み状況について	教育総務課	3
		イ 防災安全ガラスの導入について	教育総務課	4
自由民主・市民クラブ 日當 正男	3 公民館等施設のバリアフリー化について	(1) 2階に大ホールがある公民館施設の現状について	社会教育課	5
		(2) エレベーター及び階段昇降機の設置について	社会教育課	6

○6月20日(木)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
日本共産党議員団 苫米地 あつ子	3 教育上特別な支援を要する子ども達への配慮について	(1) 特別支援アシスタントの配置や支援内容について	こども支援センター	7
		(2) 特別支援学級の現状について	こども支援センター	8
きずなクラブ 田名部 裕美	1 教育行政について	(1) 私立高校入学金の納入期日について	学校教育課	9
		(2) 南郷地区におけるスクールバスの整備計画について	学校教育課	10

資料（提出様式）

質問者(議員名)	田端 文明 議員
発言事項	1 学校給食の無償化について
発言の要旨	段階的な無償化について
質問内容	全面的な無償化が困難であれば、他自治体の事例を参考に一部無償化、一部補助の考えはないか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 当市では、従来から保護者の収入や世帯の状況に応じ、要保護・準要保護世帯について、無償化の対応をしている。</p> <p>○ 所得等の制限のない無償化については、昨年6月議会において答弁したとおり、保護者にご負担いただいている給食費が年間約10億円に上り、市の財政に与える影響が大きいことから、慎重に対応する必要があると考えている。</p> <p>○ 文科省で平成29年度に実施し、平成30年7月に結果を公表した「学校給食費の無償化等の実施状況」調査によると、小・中学校の完全無償化の実施は、全国1740自治体のうち76自治体で、約4.4%であり、他に小学校のみ無償化が4自治体、中学校のみ無償化が2自治体という状況である。</p> <p>○ 小中学校の完全無償化を行っている76自治体の内訳を見ると71自治体が町村であり、残る5自治体も人口規模が3万人から7万人と比較的小規模な自治体となっている。</p> <p>○ 第2子や第3子以降は無償とする「一部無償化」を行っているのは119自治体、給食費の半分を補助するなどの「一部補助」を行っているのは311自治体となっている。</p> <p>○ 全国各地においては、完全無償化以外にも一部無償化、一部補助等を実施している自治体もあることから、今後も引き続き、国や県の動向も踏まえながら、実現の可能性を研究していく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	他自治体の中では、第2子、第3子以降の無償化であるとか、月額千円を一部補助している事例もあるようなので、実施の可能性を検討してもらいたい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	高 橋 正 人 議員
発言事項	3 通学路の安全対策強化について
発言の要旨	(1) 通学路点検における危険箇所の把握について
質問内容	通学路における危険箇所の把握及び秋と冬における安全確保について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 市内小・中学校では、児童生徒の安全確保のため、毎年、通学路の安全点検を行っており、通学路における危険箇所の把握と児童生徒への安全指導に努めている。</p> <p>○ また、家庭や連合町内会、交通安全協会等の地域諸団体から協力を得て、随時、通学路についての情報収集や安全点検を行うことにより、危険箇所の把握をしている。</p> <p>○ さらには、学校や家庭、地域諸団体による日頃の見守り活動や夏季、冬季の長期休業中における巡回指導を通して、危険箇所を把握している。</p> <p>○ なお、把握した危険箇所については、校内で情報共有を図るとともに、地域学校連携協議会等においても議題に挙げ、対策を協議し、見守りなどを行っている。</p> <p>○ 議員御指摘のとおり、秋は夕暮れが早く、冬は路面が滑りやすいなど、季節特有の状況にも配慮した危険箇所の把握と児童生徒への安全指導の充実を図ることが重要であると認識している。</p> <p>○ 市教育委員会といたしましては、今後も各学校の通学路の状況を把握するとともに、各学校から寄せられた情報をもとに、通学路の安全確保に向け、関係課や関係機関等と連携していく。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	高橋 正人 議員
発言事項	4 防災・減災対策について
発言の要旨	学校施設の非構造部材の耐震対策について ア これまでの取り組み状況について
質問内容	災害時に避難所となる小中学校の屋内運動場における非構造部材の耐震対策に関するこれまでの取り組み状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○非構造部材とは、柱や梁などの構造体ではなく、天井や外壁など構造体と区分された部材のことで、東日本大震災時には、屋内運動場の天井や照明器具が落下し、避難所機能を失う事例が他都市において、多数発生した。</p> <p>○これを受けて、平成 24 年 9 月に文科省から、公立学校施設における屋内運動場等の天井等落下防止対策について、平成 27 年度までの完了を目指すよう通知があったところである。</p> <p>○本市においては、文科省からの通知に基づき、平成 25 年度から全小中学校の屋内運動場等の非構造部材の点検を行い、点検結果を踏まえ、平成 28 年度までにバスケットゴールの耐震補強工事や、高所に設置された照明器具及び放送設備への落下防止用ワイヤーの設置などの対策を実施している。</p>
担当課	教育総務課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	高橋 正人 議員
発言事項	4 防災・減災対策について
発言の要旨	学校施設の非構造部材の耐震対策について イ 防災安全ガラスの導入について
質問内容	災害時に学校施設の窓ガラスが破損して飛び散ると、怪我の危険があるだけでなく、避難所として利用できなくなることも考えられるものであり、学校施設への防災安全窓ガラスの導入について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○防災安全窓ガラスは割れにくく、割れても破片がほとんど飛散せず、割れた時の破片が小さいなどの特性があり、災害の際の怪我や事故防止に効果があると言われている。 ○現在、当市の屋内運動場における窓ガラスの耐震対策については、文科省から示された点検項目に基づき、建築物に関する専門的な知識を有する一級建築士が、触診や目視による点検を行い、点検の結果、窓ガラスのサッシのシーリング材の剥離や、窓ガラスの亀裂を確認した場合には、地震発生時における破損や飛散防止のため、改修をしている。 ○防災安全窓ガラスの導入につきましては、安全対策として有効であるものですが、現在の窓ガラスの耐震対策の効果、文科省の動き、及び他都市の状況等を踏まえ、対応を検討する必要があると考えている。
担当課	教育総務課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	日當 正男 議員
発言事項	3 公民館等施設のバリアフリー化について
発言の要旨	(1) 2階に大ホールがある公民館施設の現状について
質問内容	2階に大ホールがある地区公民館の数とバリアフリーの現状について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○現在、地区公民館は市内に24館あり、その内、2階に大ホールを有する公民館は19館となっている。</p> <p>○地区公民館のバリアフリーの現状は、全館に玄関までのスロープ設置、1階トイレの一部洋式化、2階へのトイレ設置を行った。</p> <p>○エレベーターは、3階建の長者公民館、津波一時避難施設として建て替えた小中野公民館、耐震診断の結果を受けて建て替えた館、江陽、根城公民館の計5館に設置している。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	日當 正男 議員
発言事項	3 公民館等施設のバリアフリー化について
発言の要旨	(2) エレベーター及び階段昇降機の設置について
質問内容	地区公民館へのエレベーター及び階段昇降機の設置の可能性について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○地区公民館は、これまでも様々な意見、要望を参考に施設改修を進めてきた。しかし、利用者の高齢化など、公民館に求められる機能は、より多様化していることから、近年建て替えた複数階建ての公民館にはエレベーターを設置しており、今後建て替えをする際にも、エレベーターの設置は必要と考える。</p> <p>○また、既存の公民館に階段昇降機を設置することについては、階段幅員の減少や利用者の安全確保など多くの課題があるため、エレベーターの設置がより望ましいと考えるが、建物の改修が必要となる。</p> <p>○公民館の改修については、市策定の「公共施設マネジメントの推進に係る基本方針」に基づき、公民館の個別施設計画を策定する際に、施設の長寿命化とともに、バリアフリー化についても検討していく。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	地区公民館の中で、靴を脱がなければ入れない施設はいくつあるか。また、靴を脱がずに施設の中に入るため、玄関ホールと廊下の段差を解消する改修工事について所見を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	地区公民館 24 館中、根城公民館を除く 23 館が土足に対応していない。土足利用については、根城公民館の運用状況を注視し、地域住民や利用者の声を聞きながら検討する。また、段差解消に要する改修工事については、土足利用の要否や個別施設計画と総合的に検討する。

◎再々質問

質問内容(概要)	どこか 1 館改修して、実証実験してみたらどうか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	既存施設の土足対応に伴う改修については、段差解消の他、床の改修が伴う。根城公民館では施設の清掃が、他公民館と比較すると 2 倍の人員が必要となっているため、まずは根城公民館の運用状況を見ながら検討する。

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	誰でも気軽に利用してもらうため、エレベーターや階段昇降機等の設備を設置してほしい。お金のあまりかからない設備を研究してほしい。

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	3 教育上特別な支援を要する子ども達への配慮について
発言の要旨	(1) 特別支援アシスタントの配置や支援内容について
質問内容	特別支援アシスタントの配置や支援内容について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○特別支援教育アシスト事業は、LD、ADHD 等を含め、学習や集団適応が難しい児童生徒に対し、個々のニーズに応じた支援を行うことを目的に、市独自の事業として立ち上げたものである。</p> <p>○特別支援アシスタントは、派遣された学校長の指示を受け、児童生徒の心理的安定を図るための支援や、学習、行事等における安全確保、日常生活等の支援を行っている。</p> <p>○現在、小学校 38 校、中学校 23 校、計 61 校で 70 名の特別支援アシスタントが支援にあたっている。</p> <p>○複数配置校9校を含め、要望のあった全ての学校に配置している。</p> <p>○さらに、各学校が1学期の様子から支援が必要だと判断した児童生徒に対して、2学期から 10 名の特別支援アシスタントを追加配置し、合計 80 名で支援を行う予定である。</p> <p>○各校での活用状況は、通常学級約3割、特別支援学級約4割、どちらの学級でも支援にあたっているのは約3割である。</p> <p>○昨年度から、学校からの要望に応じて、特別支援アシスタントの勤務時間を年間で 100 時間増やすとともに、学校によって勤務時間を柔軟に組むことができるようにした。</p> <p>○このことにより、各校からは、給食時間や昼休み、午後の授業等での支援が可能となった、行事に合わせてより細やかな支援ができるようになった、との声が寄せられている。</p> <p>○市教委としては、今後とも特別支援アシスタントの適正な配置や支援の質の向上を目指した研修により、教育上特別な支援を要する子どもたちへの支援の充実に努めていく。</p>
担当課	こども支援センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	3 教育上特別な支援を要する子ども達への配慮について
発言の要旨	(2) 特別支援学級の現状について
質問内容	市内小・中学校における通級指導教室や特別支援学級の現状について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○障害のある児童生徒の自立や社会参加に向け、当市では通常の学級のほかに、通級指導教室と特別支援学級を設置している。</p> <p>○通級指導教室とは、子どもの困難さに応じて最大週8時間、特別な指導を受けられる場であり、市内小学校3校と中学校2校に設置している。</p> <p>○対象となる児童生徒は、在籍校において、各教科等の大部分の授業を受けながら、通級指導教室に通って必要な指導を受けている。</p> <p>○また、特別支援学級には、知的障害、自閉症・情緒障害、難聴、肢体不自由、病弱・身体虚弱の5つの障害種がある。</p> <p>○特別支援学級の児童生徒は、特別支援学級において個別の指導を受けるだけでなく、生活経験を広げ、社会性を育むために、通常の学級の児童生徒と共に活動する交流及び共同学習を行っている。</p> <p>○特別支援学級の現状としては、令和元年5月1日現在、特別支援学級は131学級、519人の児童生徒が在籍している。</p> <p>○これは10年前と比べ、学級数は約2倍、在籍数は約2.6倍に増加していることになる。</p> <p>○しかし、特別支援学級担任の中には、未経験者や特別支援学校教諭の免許状を持たない教員が多い状況となっている。</p> <p>○特別支援学級における専門的・継続的指導に大変苦慮していることから、計画的採用と適正配置について、市の重点事業事項として、県に毎年要望している。</p> <p>○市教委としては、教員の専門性を高める研修を充実させるとともに、全ての子どもたちが一人一人のニーズに応じた教育が受けられるよう、教育環境の充実に努めていく。</p>
担当課	こども支援センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	田名部 裕美 議員
発言事項	1 教育行政について
発言の要旨	(1) 私立高校入学金の納入期日について
質問内容	これまでの協議の内容と今後の対応について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 私立高校における入学金の納付期限については、これまでも八戸市中学校長会が私立高校の校長と意見交換を行ってきたところである。</p> <p>○ 今回、市内中学校の保護者から納付期限の変更を望む声が出ている旨、中学校長会を通じて改めて私立高校側と協議してもらったところ、「過去に検討したことはあったものの、現在までのところ変更の予定はない」とのことであった。</p> <p>○ 私立高校の入試日程については、県立高校の入試日程を踏まえて、私立高校間の重複受験を防止するとともに、受験手続きが煩雑にならないようにするための措置として県内一律の受験日にしているようだ。</p> <p>○ ただし、入学金については、大学合格時の手続きと同様、入学の意思がある場合に納付する性質のものであることから、各学校の判断で期限を設定しており、市内の私立高校が申合せをして行っているものではないと伺っている。</p> <p>○ また、所轄庁である県に確認したところ、私立高校は、学校法人自らの責任において運営されており、私立学校法において私立高校の自主性を尊重することが規定されていることから、行政の権限が制限されているとの見解を示している。</p> <p>○ 市内の私立高校では、入学金の納付期限に係る要望があることについて、経営責任者である理事長等に報告すると伺っていることから、市教委としては、引き続き中学校長会と連携し、今後の方向性を見守っていきたいと考えている。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	田名部 裕美 議員
発言事項	1 教育行政について
発言の要旨	(2) 南郷地区におけるスクールバスの整備計画について
質問内容	南郷地区のスクールバスの路線を延長し、泥障作、馬場瀬地区に整備をしてもらえるか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 小・中学校の適正配置事業において、学校を閉校・統合するにあたり学区を越えて通学することになる児童生徒については、保護者の要望を聞きながらバスやタクシーによる通学支援をしている。</p> <p>○ 南郷地区においては、平成 28 年度に市野沢小学校、中野小学校、鳩田小学校の 3 校が閉校し、市野沢小学校の校舎を使用して新たに南郷小学校が開校したことに伴い、中野地区及び鳩田地区の児童に通学支援を行ってきた。</p> <p>○ 今回の要望については、統合に伴う通学支援として運行している中野線のバスの利用人数や運行ダイヤを確認したところ、大きな支障を生じさせることなく泥障作、馬場瀬地区まで経路を変更することが可能であることから、特例として対応することとした。</p> <p>○ 来月からの運行実施に向けて保護者及び委託業者と調整を進めている。</p> <p>○ 市教委としては、適正配置事業における通学支援について、今後も引き続き適切に対応していく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	